

議会ポスト 意見等への回答

作成日：平成26年8月29日

作成者：上越市議会議長

寄せられた意見等

上越市緊急経済対策についての提言

10項目の決定方針が有るが、まずは物品入札や建設工事の方式を見直す。

物品入札参加資格者は建設工事業者から優先で物資、例 鋼材、セメント（コンクリート）、諸材料等の発注を受ける事により、直ぐに経済効果が生まれると考える。公共施設には特に緑化物を増強するにより、室内でも潤い有る空間が生まれる。例 道路にはソテツや水槽を設置する等。学校給食物資は、山間地の高齢者の生産物を特にすいしょうすれば、健康化かつ経済的ですこやかな町づくりにも貢献できるはずである。

回 答

ご指摘の10項目については、リーマンショック直後の平成20年12月18日の上越市緊急経済対策会議においてとりまとめたものであり、その後も引き続き各種の緊急経済対策を打ち出しております。報道等でご案内のとおり、現在の経済状況は、リーマンショック前の状態に回復してきてはおりますが、まだまだ、市内経済の状況は厳しいものと認識しております。

いただきましたご意見は、市内経済の活性化策に係る提言と承り、以下のとおり、回答致します。

① 物品入札参加資格者が建設工事業者から優先して資材等の発注を受けることについて

公共事業等を受注した工事業者が資材等を発注する際に、市の物品入札参加資格者名簿に掲載された事業者に優先して発注することで、市内経済の活性化につながるのご提案と承ります。

市では、市の事業において必要な工事や物品の調達に際し、原則として一般競争入札の方法により契約の相手方を決定し、契約に基づいて工事や物品の調達を行います。この際、一般競争入札に参加できるのは、あらかじめ入札参加資格を得ている事業者に限られます。一般競争入札の方法によるのは、公平性と透明性を確保するとともに、競争により適正な価格を担保するためです。

今回いただいたご意見を参考に契約を行う場合、工事業者が資材等を調達する相手先に条件が付されることになり、工事費の増大を招く結果につながりかねないことから、慎重

に対応すべきと考えます。

議会としましては、市内経済の活性化は大変重要な課題であると考えておりますことから、引き続き、市民の皆さまからの声をお聴きしながら、予算審議等を通じて、市が行う経済対策を注視してまいります。

② 公共施設（屋内）の緑化等について

多くの方が訪れる公共施設を植物や生物などを用いて、心地よく過ごすことのできる空間にすることで、訪れた人に「また来たい」と思ってもらえれば、施設の有効活用のみならず、人の交流が活発になることも期待されます。

議会としましては、今回いただいた貴重なご意見も含め、市の施設がより多くの人に利用されるよう方策を考えてまいります。

③ 学校給食に地元産の野菜等を使用することについて

市では、第2次食育推進計画の中で、学校給食における地場産の農産物の使用について数値目標を立てて取り組んでおり、学校給食に用いる白米は全小中学校で上越産米を使用しているほか、地元産の野菜を10%以上使用しています。また、すでに一部の地域では、地域の生産者が地場産野菜を学校給食用に生産し、納入しています。

ご意見にあるとおり、地域の高齢者等が生産する野菜を学校給食に用いることは、子どもたちに地産地消のしくみや何が地域特有の食材かを学ぶ機会につながる上、生産者にとっても、やりがいを感じ健康増進につながる効果が期待されます。

一方で、学校給食は一度に大量の食材を必要とし、また、2か月前に献立を立てていることなどから、食材の仕入れに当たっては、必要な時期に、数量、規格、品質等がそれぞれ安定した形で行われる必要があります。

議会としましては、計画を策定し、具体的な数値目標に基づいて実施している市の取り組みが推進されるよう、今後も注視してまいります。